



NOT FOR SALE  
NOT FOR DISTRIBUTION

非売品

無料配布物ではありません。



# FLESH AND BLOOD

TM

## SILVER AGE

シルバーエイジガイド：ヴィセライ

RUNE BLOOD VISERAI

# RUNE BLADE CLASS



## ヴィセライ

ルーン剣士・ヒーロー — 若者

4 20

あなたがルーン剣士・カードをプレイするたび、このターンにあなたが他の非攻撃・アクションカードをプレイしていた場合、「ルーン陣」トークンを1つ作成する。

アグレッシブ

コンボ

### ヴィセライ

SILVER AGE CHAPTER 1 - VISERAI

装備	EQUIPMENT
1 命刈りの刃	Reaping Blade
1 刃招きのヘルム	Blade Beckoning Helm
1 亡霊招き	Beckoning Haunt
1 春の目覚め	Blossom of Spring
1 刃招きのブーツ	Blade Beckoner Boots
1 二又の王冠	Crown of Dichotomy
1 ルーン吸魔のローブ	Runebleed Robe
1 虚空のルーンのグローブ	Nullrune Groves
1 虚空のルーンのローブ	Nullrune Robe
赤	RED - PITCH 1
2 アークナイトの増大	Amplify the Arknight
2 高音の響き	Hit the High Notes
2 ルーンの一閃	Rune Flash
2 ルーンレイジャーの群れ	Runerager Swarm
2 ルーニック葬送歌	Runic Fellingsong
2 骸骨姿の金切声	Shriek of Skullform
2 呪文刃の猛攻	Spellblade Assault
2 ルーン陣への変換	Reduce to Runeshant
2 苦痛の印	Stigil of Suffering
2 虐殺の宣告	Condemn to Slaughter
2 邪悪な詠唱	Malefific Incantation
2 紅紫に染まる天空	Mauvriton Skies
2 ルーン占い	Read the Runes
黄	YELLOW - PITCH 2
2 骸骨姿の金切声	Shriek of Skullform
2 邪悪な詠唱	Malefific Incantation
青	BLUE - PITCH 3
2 骸骨姿の金切声	Shriek of Skullform
2 呪文刃の猛攻	Spellblade Assault
2 忌まわしき悪魔	Vexing Malice
2 虐殺の宣告	Condemn to Slaughter
2 飛び掛かり	Flying High
2 紅紫に染まる天空	Mauvriton Skies
2 腐肉食虫の印	Stigil of Silphidae
2 共走り	Trot Along

### ヒーロー概要

シルバーエイジフォーマット最強の一角であった同じルーン剣士クラスであるチェインが禁止となり、これまで息をひそめていたヴィセライが動き出す時が来た。アークナイトの力をその身に宿した呪術紋の騎士であるヴィセライは、ルーン剣士得意のルーン陣作成を加速させる能力を持つ。沢山のルーン陣を生成することから環境では防御的なデッキやエニグマに対して非常に強い動き方ができる。環境を定義するヒーローの一人、オールディムともしっかりやりあうことができる。



このルーン陣を、多くの強力な攻撃アクションカードでバックアップしながら連続攻撃と秘術ダメージの波状攻撃で敵を倒す。

基本的な動きは、続行を持つスターター（非攻撃アクション）になるカードをプレイ、攻撃、が1セット。《紅紫に染まる天空》がスターターであれば最高で、攻撃に続行を与えることで絶え間なく攻撃、ルーン陣生成、攻撃、ルーン陣生成と攻撃を仕掛け続けることができる。ここに《邪悪な詠唱》のような追加でルーン陣を作り出すカードを織り交ぜながら、常にいくつものルーン陣が相手に飛んでいけるようにカードを組み合わせて使っていこう。2種類の超強力な防御リアクションも持ち、特に《苦痛の印》は相手の攻撃に対して1点の秘術ダメージを飛ばす。タイミングよく使えば、それがゲームの決定打になる。《ルーン陣への変換》も、相手の計算を狂わせる可能性がある。

### 基本的なカードたち



ほとんどのヴィセライ使いは、ターンの起点として《紅紫に染まる天空》を採用することになる。続行を持ち、ヒーロー能力の発動条件を満たすための非攻撃のルーン剣士のアクションカードであり、次のルーン剣士の攻撃アクションカードに続行を与え、さらにヒット時にルーン陣を作成する...まさにヴィセライのためにあるようなカードだ。

ここから続行の付いた《骸骨姿の金切声》や《高音の響き》などをプレイすれば大きな攻撃を連続で繰り出すことができる。攻撃して《ルーン陣》作成を行い、ヒットしたら更に《ルーン陣》が生まれる。対戦相手に攻撃を守ることがを強要する強い動きができるだろう。





ヒットすれば《紅紫に染まる天空》によって作り出された《ルーン陣》による軽減を受けた《アークナイトの増大》を後に続けたり、《ルーンレイジャーの群れ》等の続行の付いた攻撃を挟んで攻撃と秘術ダメージの波状攻撃を仕掛けるなり、対戦相手にどんどんプレッシャーをかけていくことができるだろう。

これらの苛烈な攻撃を防御時に活躍する二種類の防御リアクションでバックアップして戦おう。

シルバーエイジ環境では汎用で使いやすい防御リアクションである《群青に沈む》や《予見された宿命》が禁止されており、どのクラスも4点の防御カードとしてはブロックの《水平線上》や《力の試練》が採用されている。しかし、ルーン剣士クラスは《苦痛の印》と《ルーン陣への変換》の2種が許された状態であり、この2枚の存在がダメージレースにおいて優位に立つことができる。ただ守るだけではなく、どちらのカードもダメージを与えるか、あるいは



その手札を秘術防壁に消費するかを強要してくる。《苦痛の印》に至っては、ライフが1のヒーローの最後の手札を使った攻撃に合わせるだけで勝つことすらある強烈な防御リアクションだ。



ルーン陣の作成さうまくいってればコストを支払わずにプレイ可能な《アークナイトの増大》や《ルーンの一閃》はヴィセライと非常に相性が良く、特に《ルーンの一閃》は続行を持つことから《邪悪な詠唱》スタートでも連続での攻撃を行いやすくなっている。オーラの作成またはプレイによって続行を持つ《ルーンレイジャーの群れ》も同様に連続攻撃を容易に行うことに寄与しており、これらのカードの存在によってヴィセライはダメージ貫通能力と連続攻撃能力の両方を兼ね備えた超攻撃的アグロデッキとなっているのだ。

デッキに採用されているヒーロー効果に反応しない汎用カードが2種類あるが、これらはどちらも潤滑油の役割を果たす。普段は青のカードのピッチとして使い、必要な時が来た時だけプレイするという運用方法になるだろう。



## デッキのアップグレード

販売されているヴィセライデッキからのアップグレードを検討したとき、デッキの方向性は大きくは変わらないだろう。何度かプレイしてみて、使いにくいなと思ったカードや有効なタイミングが少ないと感じるカードを別のカードに入れ替えてみるのがいいだろう。



ヒーロー能力を考えるとデッキの中のカードは極力ルーン剣士クラスのカードだけで固めたいので、いくつか使いやすいカードをピックアップしてみよう。

青の《ルーンの一閃》《アークナイトの増大》のようなカードは入れ替えの筆頭候補になるだろう。

元のデッキに含まれる2つの汎用カードから入れ替えるのがいいだろう。残念ながら《ルーンの一閃》は赤にしか日本語版が存在しておらず再販がされていない為やや入手やプレイに難があるのが玉に瑕ではあるが、入手出来たら入れ替えてみようかな、くらいの気持ちで搜してみてもどうだろうか。

日本国内では専門店もあるのでいがいとあっさり見つかるかもしれない。テキストは同じなので赤のカードを参考にしてみるのがよい。連続攻撃によるダメージを積み重ねていくことに寄与しながらデッキ内のリソース源を確保するなら《ルーンレイジャーの群れ》も青の採用を検討してもいいだろう。これもまた、デッキの安定感を挙げつつ連続攻撃の機会を与えてくれる。



連続でルーン剣士のカードをプレイし続ける限り、ヴィセライはどんどん秘術ダメージを飛ばしていく。このダメージの蓄積によってライフレスでの優位を得ていくといい。

元のデッキに含まれているカードにはコストがやや重ためのカードが採用されている。《骸骨姿の金切声》や《高音の響き》は《ルーン陣》を作れていない時や非攻撃のアクションをとれない時にただの重たいカードになってしまう。ここをより軽い0コストのカードに変えてしまうのもアリだ。《アークナイトの誓い》を採用するのも打点の底上げかつ《ルーン陣》の作成に貢献してくれるはずだ。



0~1コストの軽めの攻撃枠としては《アブラカダブラ》や《食肉の晩餐》、汎用カードにはなるが《傷には傷を》等が採用候補。スムーズな動きを実現できるような枚数の配分には十分注意し、組み替えたら対戦するを繰り返して調整しよう。



環境に重たい防御的なデッキが多いなら、爆発用の《ルーン占い》や《ルーンブラッドの詠唱》のようなカードを用いて大量のルーン陣を溜めていくタイプのデッキを模索するのも面白い。亀ヴィセライというヒーローはかつてクラシックを席卷したこともある由緒正しいバリエーションだ。



# RUNE BLADE CLASS

ヴィセライ SAMPLE DECK	
装備	EQUIPMENT
1 星雲の剣	Nebula Blade
1 刃招きのヘルム	Blade Beckoner Helm
1 春の目覚め	Blossom of Spring
1 亡霊招き	Beckoning Haunt
1 サトクリフのスエード靴*	Sutcliffe's Suede Hides
1 刃招きのプレート	Blade Beckoning Plating
1 刃招きのブーツ	Blade Beckoning Boots
1 二又の王冠	Crown of Dichotomy
1 ルーン吸魔のローブ	Runebleed Robe
1 虚空のルーングローブ	Nullrune Groves
赤	RED - PITCH 1
2 アークナイトの増幅	Amplify the Arknight
2 秘魔術の充填	Arcane Crackles
2 邪悪な詠唱	Maleficc Incantation
2 紅紫に染まる天空	Mauvrión Skies
2 食肉の晚餐	Mead and Greet
2 アークナイトの誓い	Oath of the Arknight
2 飽くなき無秩序	Ravenous Rabble
2 ルーン陣への変換	Reduce to Runechant
2 ルーンの一閃	Rune Flash
2 ルーンレイジャーの群れ	Runerager Swarm
2 ルーニック送葬歌	Runic Fellingsong
2 傷には傷を	Scar for Scar
2 呪文刃の急襲	Spellblade Assault
2 秘術の極性	Arcane Polarity
2 苦痛の印	Sigil of Pain
黄	YELLOW - PITCH 2
2 邪悪な詠唱	Maleficc Incantation
2 ルーンの一閃	Rune Flash
1 ルーン陣への変換	Reduce to Runechant
青	BLUE - PITCH 3
2 虐殺の宣告	Condemn to Slaughter
2 紅紫に染まる天空	Mauvrión Skies
2 アークナイトの誓い	Oath of the Arknight
2 ルーンの一閃	Rune Flash
2 ルーンレイジャーの群れ	Runerager Swarm

\* 印は日本語版未発売

## サンプルデッキリスト



レイス英雄譚時点ではまだヴィセライが上位入賞を果たした記録がない。ここでは攻撃にひたすら特化し、低コストのカードを詰め込んだタイプを紹介する。青いカードが重なった時のダメージ源になるように武器として両手剣である《星雲の剣》を採用している。

このデッキには《傷には傷を》《飽くなき無秩序》の2種類の汎用攻撃アクションが採用されており、ヒーロー能力による《ルーン陣》作成よりも続行による連続攻撃を重視したより攻撃的な構成となっている。青の枚数がやや多いため《飽くなき無秩序》のプレイはそれまでに使った青の枚数などを考え、まだ比率が多そうならピッチに使用することを検討するのも大事だ。どのようなリストでも基本的な戦い方は変わらず、ヒーロー能力を有効にするためのスターターから始めて《ルーン陣》を作りながら連続攻撃による秘術ダメージと物理ダメージの波状攻撃を行う。

続行が付きにくい手札になった時、その状況を少しでも緩和するために《サトクリフのスエード靴/Sutcliffe's Suede Hides》を採用している。日本語再録がないのが玉に瑕なカードではあるが、入手難易度の高いカードではないのでシングルカードを販売しているお店で探してみるといいだろう。



青いカードは基本的に防御値が3であり、スターターになるカードか続行付きの攻撃で固めている。コストとしてピッチすることも最低限の働きをすることも出来るので重ねて引いたときにプレイ選択肢が増えるようになっている。また、ピッチされがちな青が後半にデッキの中で固まった場合でも粘り強く戦いやすい構成になっている。アグロデッキはなかなかデッキをすべて使って粘り強く戦うという戦術には向いていないとはいえないが、疲弊しきった状態でも最低限戦える構造になっていることは最後まで勝利をあきらめない為には大切なことだ。



サイドボード枠の《秘術の極性》はブライアーやケイノ相手の対抗カード、うまく使っていきたい。

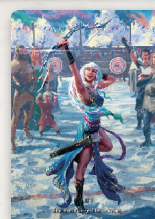
## 苦手なデッキと対策

ヴィセライは多数の1点ダメージとブレイクポイントを攻める攻撃によってエニグマやプリズムなどの幻術師には非常に強く出ることが出来るし、オールディムのような防御の硬い相手に対しても漏れ出るダメージの積み重ねや軽減不可能な量のルーン陣でのバーストダメージを作ることで勝利することができるヒーローだ。



しかしながら環境最強の呼び声高いブライアーのようなターンごとの平均ダメージが高いチュリオススタイル(0コストの続行付き攻撃を繰り返すデッキ)にはダメージ量で追いつくことが難しい。準備のターンを与え

てくれない事にはその真価を發揮しづらい。レクシーやアイスランダーのように凍傷トークンで妨害してくる相手もやや苦手で、リソース発出量が比較的少なく攻撃時にリソースがかかりがちなヴィセライは苦戦を強いことになるだろう。



ロングゲームを意識してルーン陣を溜めてから攻撃、をできるだけ行うことで相手の妨害を最小限の被害に押しとどめることができる。ライフをしっかりと高く保ちながら準備し、耐えきれない量を作り出せば勝利できるだろう。